

2026年4月3日  
住友電装株式会社

## 第10回「ものづくり日本大賞」優秀賞を受賞

住友電装株式会社（本社：三重県四日市市、社長：漆畑 憲一、以下：当社）は、第10回「ものづくり日本大賞」において、住友電気工業株式会社（以下：住友電工）、株式会社オートネットワーク技術研究所（以下：AN研）、富山住友電工株式会社（以下：富山住電）と共同で優秀賞を受賞いたしました。

「ものづくり日本大賞」は、日本の製造業における技術革新や卓越した技能を顕彰し、産業競争力の強化を目的とした権威ある表彰制度です。革新的な技術や技能を活用した優れた製品・技術・生産プロセスなどが選定され、その功績は広く社会に発信されます。

受賞案件の概要は、以下の通りです。

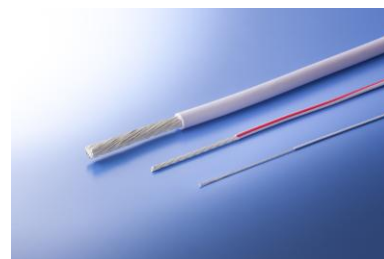
### ■ 優秀賞受賞

#### （1）案件

自動車の燃費向上に貢献する自動車用アルミニウム電線の開発

#### （2）受賞メンバー

吉本潤（当社）  
大塚保之（AN研）  
栗原鉄也（住友電工）  
高井博昭（富山住電）  
赤祖父保広（富山住電）



自動車用アルミ電線製品

#### （3）開発の概要

住友電工グループは、材料開発から車両適用検証までの一貫技術を結集し、自動車用ワイヤーハーネス向けアルミニウム電線を開発しました。

燃費向上に向けた車両軽量化のニーズに加え、銅資源の枯渇懸念を背景に、新規アルミ合金の設計と調質・細線加工技術を確立し、2010年に車両への搭載を開始しました。

車両搭載後も、10年にわたる断線対策に取り組み、従来の銅電線と同等の量産性を実現するなど、生産性と品質の継続的な改善を重ねてきました。

本技術により、ワイヤーハーネス重量を25%低減し、コンパクトカーでも車両あたり約4kgの軽量化効果が得られ、燃費・電費の向上を通じてCO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与します。

長年にわたる進化によって、適用範囲は信号用の極細電線から高電圧用途まで拡大しており、グローバルでの採用も広がっています。

以上

—ご参考—

経済産業省「ものづくり日本大賞」 <https://www.monodzukuri.meti.go.jp/index.html>